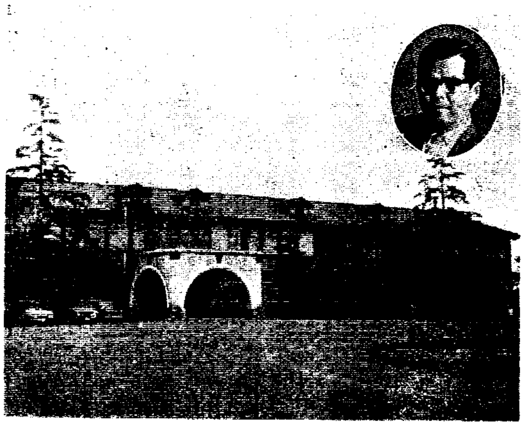
越高新聞
発行所 埼玉県立越ヶ谷高等学校 出版委員会
印刷所 埼新印刷株式会社

楽しさはピッタリ合ったお靴から
アキレス 世界長 アポロ 特約
ナナホシ靴店
TEL（六）—三四一三

よりよい校風と伝統を築こう

飯島正幹校長先生新任
豊田重穂前校長教育研究所へ

昭和四十一年春の人事異動の結果、飯島正幹先生が御着任となった。先生は浦和高等学校教頭の職にあられたが、このたび我々生徒と地元父兄の大きな期待のなかで本校のために労をとられることになった。これに伴い豊田重穂先生は県立教育研究所長として御栄転になった。その他の異動では本校生徒会発展のためにつくされた宮沢幸雄先生が戸田高校へ、数学科の岸敬紀先生が秋田県の花岡工業高校へそれぞれ御転任になられた。なお飯島先生は次のようなことばを本校生徒のためにお寄下さった。



「この学校をこんな学校にしたい」「こんな学校であってほしい」と願う気持は、およそこの学校に関係を持つものなら、先生方でも生徒諸君でもみな同じだろう。しかし学校という複雑な組織体は他の多くの社会がそうであるように思う通りにはなってくれない。しかし学校に関係をもっている多くの人々が、学校をよりよいものにしようと願う気持を持つことはたいせつなことである。一人でも多くの人が、学校をよくしようと努め、その骨折りを続けてゆけば、それだけ学校はよくなっていくと思うからである。

おそらく大多数の諸君が、学校に対しても私に対しても、いろんな希望を持っているように、私にももちろん諸君に対し、「こんな生徒であってほしい」という希望がある。また同時に、「私はこんな校長でありたい」といった私個人の願いもある。しかし今その全部を書くわけにもいかないので、現在考えていることを二つ程書いてみよう。

その一つは自分に対してであるが、「だれにもすかれる理解のある校長になりたい」という願いである。理解があるということは、わかっているようで案外むずかしいことである。ますそれには、お互いが本当に心を打開けあって話し合える条件と機会がなくてはできないことである。心にわだかまりがあって、疑惑や偏見が支配しているようなところでは、本当の人間と人間との心のふれあいなどはのぞめない。ホッブスという人の言葉に「人は人にとって狼である」というのがある。時に人間にはお互いの意思が通い合わなくて思わぬ争いを起すようなこともあろう。しかしそんな場合でもお互の心の中に人間としての誠意、心の誠実さがあれば自然に気持が通じ合ってくるのではないだろうか。私はホッブスのいうように「人が人にとって狼である」ような社会はつくりたくない。私は諸君と本当に心を打開けあって、うれしい時はともに笑い、悲しい時は一緒に泣けるような校長になりたいと願っている。

次に諸君に対して望みたいことを一つ。わかり切っているようなことだけれども「本当に自己を持った人間となれ」ということ。人間はすべてその人その人に個有の人格がある。たとえそれがどんなに価値無しと思えるような人間でも、その人にはその人なりの生き方があり、その生命はその人にとって他にかけがえのない尊いものである。それだけに諸君は自分というものをたいせつにし、しっかりした自分というものを持っていなくてはならない。勉学の途上にある諸君は先生方のよい指導をうけ、学びうる限り多くのものをまなんで、諸君の人格形成の糧としてゆく心構えを持つことがたいせつであろう。しかし自分の人格は自分で自ら築り上げるもので他人に造ってもらうものではないということも忘れてはならない。正しい批判眼を持ち、公正な判断力を養ってよりよい自己を築き上げるように努力してほしいと思う。

以上現在考えている私の願いと諸君への希望を一つずつ書いてみた。果して私が私の考えているような校長になれるかどうか、また諸君が私の希望しているような生徒であってくれるかどうか、それはすべて今後に残された私ならびに諸君の課題である。わが越ヶ谷高等学校が明るく楽しい学園であるように、また今後よりよい校風と伝統を築き上げてゆくように、私は諸君としっかり手を結んで、着実な前進をしてゆきたいと考えている。

なお、豊田重穂先生は、このほど埼玉県立教育研究所長として御栄転になった。

豊田先生は昭和三十八年五月に前校長小関先生のあとをうけて御着任となり、満二年十一ヶ月の間本校発展のために努力して下さった。豊田先生が本校のためになされた仕事は多くあるが、物的には鉄筋校舎の完成、プレハブ教室の完成など、生徒数がいまだかつてなく増加した時期に対する対策に多大の労をとられた。

さらに私達生徒に対しては、常にあたたかい教育的配慮をもってのぞまれ、何よりも私達が人間として立派に成長することを願って下さった。特に始業式、終業式、その他の式典のさいのお話では、中国文学や国文学についての深い御教養に、現代社会についての鋭い御見識を加えて、暖かく、私達をさとして下さった。先生が身をもって示された物事に対する誠実な態度は、他の物ものにもまして、私達にとってよい教訓であった。先生が去られたことはさびしい限りであるが、新校長の下で一層勉学に励むことが私達に与えられた課題である。

寄稿　越高生に望む

豊田重穂

すでに越高教員の地位にない私が、こうした欄で語ることは、分をわきまえず、さしでがましいとは思うが、乞いを容って、二、三思うところを記すので、参考としてお読みいただきたい。

第一は自主性を持ってほしいということ。裏からいえば、個性を発揮してほしいということになる。自分をしっかりとみつめて、みだりに人真似をしないことである。友人がするから自分もしてみようとか、他校でしているから、わが校でもそれに倣おうという卑屈さはさけてほしいものだ。人はそれぞれの環境にあり、異なった特性をもち、得手不得手もさまざまで、決して一様ではない。学校には、それぞれに特色があり、伝統があり、父兄、地域の要望、期待も一様ではなかろう。個人としても学校としても、他と共通したところのあるのは当然だから、他人他校のするところを十分に参考にするのはもちろんだが、自己の行動を決定するに当っては、安易な模倣ですませてはならない。「一犬虚に吠えて、万犬実を伝う」ということばがある。将来、社会に出た際に、マスコミによって方向づけられた滔々たる時流に身をゆだね、是非の判断も誤るままに罪を処するようでは心細い。世に逆らうことをもって快となし好んで「つむじ曲り」を衒うのは鼻もちならぬが、各々心中には深くたのむところをもってほしいものである。

第二には、学業に専念してほしいということ。わかりやすくいえば、勉強しなさいということだ。生徒の本領は、まず第一に毎日の学校生活を充実して送ることではなかろうか。諸君は今のところ、何ら社会に貢献するところなく、ただ社会の恩恵を身に受けているだけである。将来大いに社会に貢献せんがために、今しばらく学業に励んでいるのだし、社会もまたそれを期待している。強く吹かんがためには、深く吸わねばならぬ道理。今にして堅実な勉強ができずして、後日の有為は期待できない。ある生徒から、予習復習をほとんどやらないということをきいて驚いたことがある。よくもまあ臆面もなく授業に出られたものだと感心した。諸君は、少なくとも一日二時間の勉強は必要だろう。漫然と机に向っては、五時間六時間も効果はない。私のいうのは努力集中しての二時間である。それ以上の余裕の時間は、それぞれの進路や特性に応じて、必要ならばさらに教科の勉強に精出してもよし、好むところ、得意とするところを楽しんでも結構。だれかれの区別もなく、皆一様に余暇のすべてを教科の勉強に傾注し、全校揃って型にはまった生徒になれといっているのではない。二時間ぐらいの勉強もできない生徒が多数を占めてくると、学校全体の雰囲気が低調になり沈滞して、だらけきったものになる。学校というものは、校舎のすみずみまで、生気溌剌とした気風に満ちて、快よい緊張感が感ぜられるようでありたい。事に触れて、この気風の醸成するところ、素晴らしい成果となって外に示されることとなるだろう。

第三に、皆仲よく暮してほしい。和やかに楽しくあるための肝要な着眼は、相互に他人の尊厳を認めあうことに尽きる。男生徒あり、女生徒あり、上級生あり下級生あり、それぞれがまた十人十色で、さまざまな個性を生かしている。それだからこそ、和やかで楽しいのである。型にはまったような生徒が、確たる目指すところも持たず、一致協力、心をあわせて怠けあっていて、楽しいはずがない。

以上述べたところ、越高生に欠けているから、これを望むという意味で記したわけではないので、誤解のないようお願いしたい。総じてかくありたいということを、諸君について述べたにすぎない。

越ヶ谷高校が、今後において、いよいよ充実発展せられんことを心より祈念して、筆を擱くこととする。

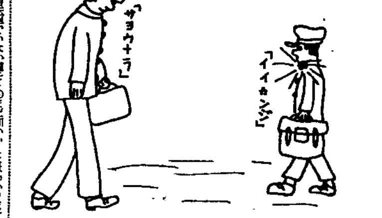
（四一・五・二二）

伝統というもの

久伊豆の森にも新緑が薫る初夏の季節となった。春休みから行なわれた予算会同委員会も予算が決定し、もう仕事にも慣れた感がある現在までを省りみて就任当初の生徒会活動の不安感は跡形もなく消えさってしまったが、又私にとって勉強になった点も多かった。生徒会の意見がそのまま学校側に受け入れられるわけではなく、必ずそこには意見の相違を生み、対立したこともあり、前校長先生がいわれた"和して同せず"の相和の精神を忘れて感情に走ったこともあった。それらもよい反省になったと思う。さて一年生も越高生活に慣れてきたと思うが越高をどのように感じているだろうか。

私は入学してから二年以上もたってしまったが、入学した頃からくらべて、やはり僅かではあるが越高の感じ方も違い、また進歩したように思う。上級生と下級生の関係一つにしても以前よりは好ましくなったことは確かであろう。これらは地味で緩慢な歩みなので目前ははっきりとはわからないが、これが長い間のうちに伝統というものを築きあげているのである。革命という言葉があるが、それだって急転することは出来るが、伝統を築くことは無理である。一朝一夕に伝統を築くことは不可能である。やはり伝統とは着実な歩みの結果であろう。そしてこの伝統とは一人の英雄の成し遂げたものでなく、大勢の無名の人々の結集なのである。ところがわれわれはそれらを忘れていきそうでもある。歴史の教科書に書かれた人々だけが歴史を作りあげたような錯覚をおこしやすい。確かにそれらの人々はおおいに貢献したのであろうが、誠実に生き、消えていった多数の人々が背景にあったと思う。

ある作家がいった言葉であるが、「孟子や釈迦や孔子は尊敬すべきすぐれた人物だが、それに値する世に知られなかった人が数人ぐらい存在していたと思う。そう思うと有難くなり、自信が湧く」というのを読み、感心してしまった。そのように考えると現在までの歴史もわが越高の伝統も有難くなってくる。校舎などになると人間社会が形成されてから今日のような素らしくなるまでに大勢の人々の努力の跡もわかるし、運動部などでは特に伝統が自信となるものである。確かに伝統は有難い。しかし伝統の上に立って安心していると、またもとのもくあみになってしまう。われわれは化学的にいうなら一個の分子かもしれぬが、分子は分子なりに微力でも、新しいことを発見し古いものは更正していけば、生徒会、委員会に限らず、わずかでも前進し、新しい伝統も生まれると思う。



張り切る新任の先生方　抱負あれこれ

毎年教員の移動がありますが、今年も校長先生を始めとし、今年大学を出たばかりの新米の先生や経験豊富の先生方五名と事務員さんが本校に着任いたしました。新任の先生方は越高の生徒は明るく何事も熱心にやるとお褒めの言葉をいただきました。生徒諸君もこの言葉を裏切らずに頑張ろうではありませんか。（アイウエオ順）

①略歴　卒業高校　〃大学
②担当教科
③指導方針
④学生時代の思い出
⑤本校の印象
⑥生徒に望む事

菊地亮子先生

①岩手県立一関第二高等学校音楽科。上野学園大学音楽部科。
②音楽
③今までの学生時代、一番つまらないと思ったのは、先生が教室に入っていらして、すぐ授業を始め、それが終ると、サッサと出ていかれる先生でした。教科書以外の事は何もいわない、そのような授業には、したくないと思います。音楽室から、いつも歌声と笑い声が絶えない様なそんな授業なら最高です。
④春うららかなある日、みんな春の陽気のせいかぼんやりして先生のお話を良くきいていません。私達の高校は数学と英語だけは年に三回、試験によってクラス分けされていました。「次!」「？…」前から順々に立たされています。「ナンダ! 菊地も聞いていないのか!」そこで先生はおっしゃいました。「人間の魅力は、きれいな着物を着た時ではない。なにかに、真一生懸命打込んでいる時が、真に人間としての一番美しい姿を感じる」と。大好きだったこの数学の先生のお言葉は、今尚私の心の中に、生き続けております。そして、又今自分が教壇に立ってみて生徒の真剣なまなざしを感じた時、しみじみ先生のおっしゃられた事をかみしめています。
⑤古い伝統のもとに、しっかりと落着いた感じ!! いつも、自分が先生であることを忘れ、二高生（一関第二）である様な錯覚を起こしている自分を発見します。それほど越高は、わが母校に似た雰囲気です。
⑥先生である前に人間でありたいと思います。いつでも気軽るに話かけて下さい。「先生と親しくなりたいなら、その教科をもっともっと勉強しなさい」と高校入学当時、良く言われたものです。かけがえのない人間、必要とされる人になりましょう!!

中村武先生

①昭和三十八年県立春日部高校卒業、同年四月埼玉大学へ入学し現在教育学部四年在学中
②体育
③明かるく行動力のある生徒を育てたい。その為には時にはスパルタも強いるかもしれないが頑張ってもらいたい。
④自分の学生生活は、全く体操（クラブ）を通してのものだと言っても過言ではないと思う。中学校で体操を初めていらい、とうとう十年目を迎えてしまった。この十年間で特に印象にのこるのは高校時代である。クラブ生活は、辛くもあり又楽しくもあった。合宿の時等先生の顔を見るのもいやな位であった。しかし優勝した時など先生が一番喜んでくれた。毎日々々練習で何処へも旅行に行けなかった。しかしそのかわり試合で行こうと先生と約束した。だから国体インターハイの出場権を獲得した時は先生と一緒に喜んだのを覚えている。
⑤最初に本校に来た時は日曜だったがまず目につき、印象に残ったのは陸上競技部を始めとする運動部である。日曜だというのに多数の学生が来校し練習に励んでいる姿を見た。実に熱心な態度を印象づけられた。特に目に写ったのはどっしりとした落着いた校舎と平和のシンボル「はと」である。中の学生も皆平和そうであった。
⑥まだはっきり学生の特徴をつかめないが、とにかく、自分の意見を持ち、自分の意志で行動出来るようになってもらいたい。

三野安夫先生

①北海道立栗山高等学校東京理科大学理学部第一部、数学科。
②数学
③教壇に立つのは初めてですので、自分の思うようにはいかなくても、皆さんと一しょにがんばっていきたいと思います。
④大学より高校時代の方が思い出に残っています。高校時代は自転車でいなか道を通いました。大学では数学が高校の数学と全く違い、あまりむずかしくて自信をなくした次第です。非常に抽象的で、論理的で、げん能なのにはおどろきました。
⑤東京の高校とは違って非常にグランドが大きくて、皆様のんびりしているのにはおどろきました。
⑥高校時代の人生の分れ目だといっても過言ではないと思います。自分をよくみつめて意義ある生活を送って下さい。

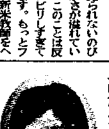
谷沢孝先生

①都立両国高校　東京教育大学文学部史学科
②日本史、世界史
③単なる事実の羅列に留まらず、歴史の発展の大きな流れをつかめる様に心がける
④大学では鎌倉新仏教の「一遍」を卒論で取り上げたのですが、専門の勉強より雑学ばかりやっていました。家へ帰れば週に三日は家庭教師のアルバイトに行かなければならず、自分の家の商売も手伝わねばならなかったので、卒論を死にもの狂いでやった半年間を除いては、真剣に勉強したとは云えない様です。然し、常にいろいろな問題について関心を持ち続け、級友達と大いに語り合った事は悔いのない大学生活でした。
⑤まだ細かいことはわかりませんが、明るい雰囲気の、そして校舎のスミズミ迄さっぱりと整った学校であるという感じを持ちました。
⑥東京の高校には見られないのびのびしたおおらかさが溢れていると思いますが、このことは反面生徒諸君がノンビリしすぎている事でもあります。もっとファイトを持って、新米教師をヘコますぐらいのつもりで噛みついて来てほしいと思います。今後も楽しく一緒に勉強して行きましょう。

山本富士夫先生

①埼玉県立和光中学校　埼玉県立春日部高等学校　慶応義塾大学文学部
②英語
③立派な市民として、人間形成を目指し、片寄った思想を持たない国際的視野の広い人間形成を目指し、授業の中にもそのようなものを導入していきたいと思う。
④僕の学生時代は中学時代（現在の高校）と大学時代に分けられるのですが、中学時代は、当時軍国主義が華やかな頃で、そのムードが校内生活にも浸透していて、幾分か窮屈な感じさえしたものです。又、大学進学準備も現在の高校生諸君よりも激しく鍛えられたので、大学時代の方が楽しかったのではないとか言う気がした。その当時の中学生活を振り返って見ると、現在の高校生活は実に羨ましいの言葉につきます。
⑤始業式の日に申しましたように実に落着いた環境の中に校舎があって、非常によい感じを受けました。前任校がアメリカ合衆国なら英国といった古い伝統を持っていると言えましょう。しかし、"生ある所希望あり"で本校についての私の希望は、運動場がやや狭いのではないのかと言う感じをうけますので、その宿題を成る可く早く解決していただくことだと思う次第です。
⑥まだ着任してから一ヶ月も経過していませんのでよくはいえませんが、生徒諸君が活発に動いている様子が見られますが、クラブ活動が盛んで、そのクラブに専念している生徒生徒とした気持ちを授業に反映していただきたいと思います。

▼事務員さん▲　高橋初江さん



①春女卒
④まだ、思い出というほどのものはありません。
⑤建物の風景そうなのがまず目につきました。

※中村先生の写真を都合により載せなかったことを深くおわびいたします。

新設クラブこれでいいのか!!
四十一年度予算額決定

去る四月一・二・三日に予算会同委員会が行なわれた。文化部と各委員会の予算はすぐに決まったが運動部が決まらず、四月十五日の予算配分相談会でもはっきり決まらなかった。五月四日に全部決定した予算総額は、二百六十五万七千七百七十三円で昨年より九万七千九十三円減少した。今年度の配当は、本部二十八%、委員会十二・五%、文化部二十四%、運動部三十五・五%それぞれ一万六千六百四十三円、二万七千七百五十八円、八万五千八百十八円の減少、運動部は二万六千七百八円が増加された。

本年度予算編成にあたって、運動部の予算額の決定がなかなかはかどらず、今年も例年通り原案作成は多くの困難をきした。決定された本年度予算額は左記の通りである。

昭和41年度予算書

旅団名	昨年度配当額	請求額	本年度予算額
本部	760,819	973,300	744,176
図書委員会	74,124	103,145	83,056
保健〃	26,300	18,450	15,950
出版〃	112,361	197,710	141,194
放送〃	77,089	96,810	76,411
体育〃	14,590	20,250	16,611
美術クラブ	42,585	58,200	42,536
書道〃	41,113	59,800	42,536
演劇〃	43,920	47,800	38,282
音楽〃	68,161	75,900	59,549
社会〃	53,643	54,820	44,662
英語〃	30,800	28,000	28,000
文芸〃	56,820	52,500	52,500
物化〃	50,457	54,000	44,662
生物〃	46,063	47,350	40,409
写真〃	52,569	44,430	44,430
茶[illegible]〃	30,850	27,430	27,430
箏曲〃	33,450	40,650	29,775
生活〃	36,550	37,900	31,902
[illegible]〃	54,961	67,500	51,043
囲[illegible]〃	28,650	22,500	22,500
数学〃	30,042	19,150	19,150
弁論〃	21,050	18,500	18,500
合計	2755,766	1192,611	97,008

運動クラブ予算表（生徒案）

クラブ名	昨年度予算額	請求額	%	41年度予算額
陸上	126,909	207,685	16.5	155,685
女子バレー	96,306	134,640	11.7	110,396
バスケット	90,328	113,430	10.2	96,244
卓球	99,943	105,935	10.4	98,131
体操	48,966	49,800	4.7	44,281
ソフト	76,705	77,000	8.1	76,430
ボート	91,428	70,980	8.37	78,317
庭球	86,216	95,760	9.58	89,639
男子バレー	50,000	63,320	5.55	51,899
弓道	50,000	53,960	5.04	47,181
バドミントン	50,000	49,800	4.84	45,294
剣道	50,000	61,750	5.35	50,012
合計	916,801	1,084,060	100	943,509

学校行事

5月3日　憲法記念日
4～6日　レントゲン撮影
5日　子供の日
11日　実力テスト
21日　中間テスト時間割発表
24～25日　学徒総合体育大会
24～25日　父兄会（三年）
28～6月1日　中間テスト（29日を除く）
6月2～3日　校内総合体育大会
7日　遠足（全学年）
20日　学年集会（一年）
24～25日　父兄会（二年）
27日　学年集会（二年）
7月1日　父兄会（一年）
期末テスト時間割発表
2日　能研テスト
8～12日　期末テスト（10日を除く）
18日　学年集会（三年）
19日　生徒総会
20日　終業式

時計は（SEIKOSHOP）の
眼鏡は（石川眼科指定）の　当店で
営業品目　ユピワ・パイロット万年
時計修理・マルマン電子ガスライター
親切丁寧
いとう時計店
越ヶ谷市駅前通り　新国道角
TEL (0489) ⑥2357～9241

日本大学通信教育部
学生募集
日大の通信教育は昭和二十四年三月に創設され、今日まで七千五百名にのぼる卒業生を社会に送っております。低廉な学費で入学後の昼夜間通学部への転部転科も自由で、大学教育の機会均等実現のために鋭意努力しております。
法学部（法律・政経）
文理学部（英文・国文 哲学・史学）
経済学部（経済）
商学部（商業）
教職課程、聴講生の制度も併設して、高校在学中の入学をお待ちしております。
入学案内（郵便切手四十円封入の上ご申込み下さい）
東京都千代田区西神田二の五五
日本大学通信教育部

文房具と
お菓子の店
五十嵐商店
越ヶ谷高等学校通り
TEL ⑥ 2508

書籍・雑誌・教科書
文房具
明詩社書店
TEL 越ヶ谷 0489 ⑥ — 2020